

新規会員 10%増、給付金の増額などについて意見交換

京都市で近畿ブロック会議開く

2024 度の近畿地区ブロック会議が 11 月 2 日（日）京都市で開かれ、近畿地区の支部長らが、ストーマ器具の給付金増額や支部の運営、災害対策など 3 つの共通テーマについて話し合いました。

会場の草津市立市民総合交流センターには、近畿 6 支部から支部長、副支部長のほか、本部の脇田由美子執行理事（兵庫県支部所属）が参加、地元京都府支部の幹事含め 22 名が集まりました。兵庫県支部からは 川村耕一支部長と由良典久、古川秀範の両副支部長が出席しました。



【京都市「ひと・まち」交流館】

会議は、京都府の小田原俊夫支部長議長で進められ、参加者の紹介に続いて共通テーマについて報告と意見発表が行われました。

今回の共通テーマは、①支部長会議の感想と進め方、②新規会員数 10%増の状況、③給付金増額要望活動、④若いオストメイトへの取り組み、⑤日身連への要望事項、⑥災害対策への取り組みなどでした。

このうち、②③のテーマについての報告・意見は次の通りです。

❖新規会員数 10%増の達成状況

支部名	兵庫	滋賀	大阪	和歌山	京都	奈良	合計
会員数	286	52	182	30	171	92	813
目標数	32	5	18	3	18	9	85
達成数	16	2	10	1	5	2	30

❖給付金増額要望活動

- ・奈良：9 月中旬に全市町に要望書提出（回答期限 11 月末）。うち 5 市町から回答あり。徐々に前向き？
- ・京都：9 月中旬に要望書提出（26 市町村）➡増額なし（検討する 5 件）一部で議員を通じて代表質問を要望中。オストミー本部から国に対しての要望活動を希望。
- ・和歌山：なし
- ・大阪：8 月に 43 市町村に要望書提出。数件回答。「理解するが財政難」との回答が大半。多大な労力に伴う成果がない。アップが認められている市町もあるので、粘り強い活動が必要。
- ・滋賀：R5 年度に 13,000 円に達していた 3 町を除く 16 市町に要望書を郵送。R6 に 1 市アップ。残りの 15 市町に再度要望書を郵送。各市町は周囲の動向を見ている。
- ・兵庫：全 41 市町にメールで要望書を送った。10/31 の回答期限までに 18 市町から返信。4 市町が増額回答。

【コロプラスト社・濱本氏の報告】

- ・全国自治体 1741 のうち 934 の自治体に要望書を提出。J O A とコロプラストの協働により基準額が見直しとなった自治体は 106。近畿は低迷。
- ・要望の有効な方法：①要望書の手渡し ②県からガイドラインを提示 ③WOCN や医療関係者に依頼 ④販売店との協働 ⑤議会への働きかけ

（報告：古川秀範）